

二階部屋での説教、ゲッセマネの園へ行く道すがらの教え、大祭司の祈り

文脈の確認

10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
					+

エルサレム入城

- イエスの公生涯は終わり、弟子たちへの「オリーブ山での説教」も終わった。
- オリーブ山での説教を終えると、イエスは弟子たちに、十字架の死を予告する。
- 水曜日の夜の出来事は、二つ。
 - オリーブ山からベタニヤに戻り、シモン家で夕食。マルタが給仕し、ラザロも食卓に。マリヤによる香油注ぎ、これがイエスの埋葬準備となる。
 - マリヤによる香油注ぎに反対したユダは、イエスから叱責を受ける。夕食の席を抜けてエルサレムの祭司長たちのもとへ。銀貨30枚でイエスを売ることを約束する。
- 水曜日の夜明けから日没まで、そして木曜日の夜についての記事は、ない。
- 木曜日の夜明け、14日は過越の食事を準備する日。
 - 羊の肉以外の食材を用意する。
 - 過越の小羊を神殿でささげ、肉を持って帰る。14日の午後3時から6時にかけて。
- 弟子たちが過越の食事を準備をする。場所は、あらかじめイエスが手配していた。
- 日没後は金曜日15日である。イエスと弟子たちは過越の食事の席につく。
- イエスと弟子たちの過越の食事、伝統的なユダヤの手順に沿う。
 - 食前のことば
 - 第一の杯(感謝の杯)【第二の杯(裁きの杯)】
 - 洗足とユダの裏切りの予告①
 - カルパス(野菜)とユダの裏切りの予告②
 - 2枚目の種なしパン(マッツァ)
 - ハロセット(くるみとリンゴを混ぜたもの)とユダの裏切りの予告③
 - 第三の杯(贖いの杯)と新しい契約
 - 偉大さに関する教え
 - ペテロの拒否の予告
 - ハレル(賛美)【第四の杯(賛美の杯)】

食事

注：過越の食事の杯には4つあるが、そのうちの二つ【 】は記載されず。

今回の場面

- 過越の食事の後、その場所(二階部屋)で、イエスが弟子たちに語る。(ヨハネ14章)
- 二階部屋から出発して、エルサレムの町を出て、ゲッセマネの園に向かう。その道すがら、イエスが弟子たちに語る。(ヨハネ15・16章)
- ゲッセマネの園に近づいた辺りで、イエスが祈る。(ヨハネ17章)

聖書箇所

1. 二階部屋での説教 (ヨハネ 14 章)

(1) 父なる神の唯一の道

① 天の住まいの約束 (14: 1~4)

- 3節「わたしが行って、あなた方に場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます」=携挙の約束 (Iテサ 4: 16~17)

② トマスの質問 (14: 5~7)

③ ピリポの質問 (14: 8~11)

④ 祈りは聞かれるという約束 (14: 12~14)

(2) 助け主【聖霊】が遣わされるという約束

① もうひとりの助け主【聖霊】の約束 (14: 15~17)

② イエスが戻ってくるという約束 (14: 18~21)

- 19節 復活のイエスを見るという約束
- 20節 「その日」=聖霊降臨の日

③ ユダ (タダイ) の質問 (14: 22~26)

④ 平安の約束 (14: 27~31)

2. ゲッセマネの園まで歩きながらの説教 (ヨハネ 15・16 章)

(1) ぶどうの木とその枝のたとえ話 (15: 1~10)

① 父は農夫、イエスはぶどうの木、あなたがた (弟子たち→『信者』) はその枝

② 2節「わたしの枝で実を結ばないものはみな、父がそれを取り除き」→「(日当たりがよくなるように) 上に挙げ」

③ 6節「だれでも、もしわたしにとどまっていなければ、枝のように投げ捨てられて、枯れます。人々はそれを寄せ集めて火に投げ込むので、それは燃えてしまいます」

- 信者はいったん救われたら、その救いは永遠に失われない。
- この火は、「キリストの裁きの座」(IIコリ 5: 10、Iコリ 3: 10~15)

④ 1節 イエスは、「まことのぶどうの木」

- 旧約聖書では、イスラエルの民がぶどうの木 (詩 80: 8、エレ 2: 21)
- イエスは、父なる神がイスラエルの民に対して意図されたことを成就するために来られた。ゆえに、イエスは「まことのぶどうの木」である。

(2) イエスの友 (15: 11~17)

(3) この世から受ける苦しみ (15: 18~16: 4)

(4) 聖霊の働き (16: 5~15)

(5) 悲しみから喜びへ (16: 16~33)

3. 大祭司の祈り (ヨハネ 17 章)

(1) 自分自身のための祈り (17: 1~5)

(2) 使徒たちのための祈り (17: 6~19)

(3) すべての信者のための祈り (17: 20~26)

ゲッセマネの園まで歩きながらの説教についての考察

1. 考察のきっかけ

(1) たとえ話の解釈について

① イエスは「まことのぶどうの木」、まことのイスラエルであるなら、その枝はイスラエルの民、ユダヤ人たち。

- 「わたしの枝」(2節)は、ヨハネ1:11の「ご自分の民」と同じで、イスラエルの民を指す、とすれば、
 - イエスにとどまり実を結ぶのは、イエスをメシアと信じた者たち
 - イエスにとどまらずに実を結ばないのは、イエスをメシアではないと拒否した不信者たち

● 「人々はそれを寄せ集めて火に投げ込むので、それは燃えてしまいます」(6節)は、紀元70年のエルサレム陥落を指すのではないか。

② たとえ話の解釈で最も重要なことは、結論がどれかを特定すること。この話はどこまで続いていて、どの箇所が結論なのか？

- 15:1~10の範囲にとどまらない。15:16、16:25
- 結論は、16:32~33 弟子たちが散らされて、それぞれ自分の家に帰り、イエスをひとり残す時が来る。しかし、このことを話したのは、弟子たちがイエスにあって平安を持つためである。弟子たちは世にあって患難に会う。しかし、勇敢であれ、イエスはすでに世に勝ったのである。

(2) この説教の語られている場面について

① どこかに座って教えているのではない。ゲッセマネの園まで歩く、そのわずかな時間も惜しむかのように、イエスが歩きながら語るのである。

② イエスが十字架の死を目前にして、弟子たちに対する最後の教えである。

③ イエスがここで最も伝えたかったメッセージは何か？

- 15:4 「わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります」

2. この説教の構成：これから弟子たちが経験することを、逆の時系列で語る。

(1) 16:32 弟子たちが散らされ、イエスは十字架につく

(2) 16:16~28 イエスが復活し、天に上げられる。弟子たちはイエスの御名によって祈るようになる。

(3) 16:7~15 助け主である聖霊が来られる。信者を助けるとともに、世に誤りを認めさせ、イエスの栄光を現す。

(4) 15:18~16:3 弟子たちは迫害を受ける。

(5) 15:9~17 弟子たちはイエスの愛の中にとどまり、互いに愛し合う。イエスが弟子たちを愛したように、弟子たちも互いに愛し合うこと、これがキリストの律法である。

(6) 15:5~8 イエスをメシアと信じた者たちは実を結ぶ。そうでない者たちは、エルサレム陥落と運命を共にする。(ヨハネの福音書が書かれた時は、すでにエルサレム陥落が起きていた)

本日の結論

1. 今回の場面では、メシアの働きが、預言者から大祭司へと移行している。
 - (1) メシアの働きは、預言者→大祭司→王（千年王国）へと展開していく。
 - (2) この中で、祈りの仕方も変わった。ヨハネ 16:23~24、イエスの御名による祈り。
 - (3) これは、昇天後の大祭司なるイエスのとりなしを前提にした祈りである。
 - (4) マタイ 6 章の「主の祈り」のパターンに、「イエスの御名によって」がないのは、まだ律法の時代であったためである。
2. メシアの十字架の死→復活→昇天によって、聖霊降臨。この結果、神の国のプログラムは、律法の時代から恵みの時代、聖霊の時代へと移る。今回の場面でのイエスの教えは、聖霊が主要なテーマ。神の国のプログラムが新たな段階に移ることを教えるものである。
3. 聖霊の働きは大きく言うと3つ、信者を助けること、世に誤りを認めさせること、イエスを証しすること、である。

お知らせ

1. 聖書フォーラムに新たな仲間が、呉に加わります。11月19日（土）が開所式です。
2. 聖書塾第29期（福岡）入門コースは、来月10日が第4回最終回です。前日午後6時半には、中川先生を囲んで第19期（熊本）のメンバーが同窓会の夕食会を開催します。第29期の受講生の中からも数名の参加者がある予定です。幹事の濱崎兄にはお世話になります。
3. 11月後半の集会予定
 - (1) 19日（土）13:30 福岡集会「メシアの初臨預言の学び・諸書の部」
 - (2) 20日（日）10:30 門司港レトロ集会「祈り・・・父なる神」
 - (3) 23日（祝・水）13:30 みやま集会「聖霊」
 - (4) 27日（日）13:30 熊本集会「メシアの生涯」
4. 12月の集会予定
 - (1) 10日（土）10:00 聖書塾第29期（福岡）
 - (2) 11日（日）13:30 熊本集会
 - (3) 17日（土）13:30 福岡集会
 - (4) 18日（日）10:30 門司港レトロ集会
 - (5) 25日（日）13:30 熊本集会
 - (6) みやま集会は、12月お休みです。
5. 来年1月の集会予定で、通常日程からの変更点
 - (1) 熊本集会 8日（第2日曜日）と **29日（第5日曜日）**
6. 門司港レトロ集会へのサポート献金
8月からの繰り越しが4,000円。熊本と福岡の集会での献金が、9月29,000円、10月29,000円でした。ありがとうございました。門司港レトロ集会に、9月に3万円、10月に3万円をサポート献金して、本日現在の繰越残高は2,000円です。